

しょうぼう 消防のしごと

ホームページ
QRコード



わたしたち せいかつ ひ
私達の生活になくはないものに『火』
があります。火はとても便利なものですが、ま
ちがった使い方や火遊びなどをすると、おそろ
しい火事になります。

そして、火事はたくさんの家を焼き、大切な
いのち 命まで奪ってしまうこともあり、いつどこで起
こるかわかりません。火事を防ぐために、消防
署ではどんな仕事をしているのでしょうか。

もくじ

- しょうぼうしょ しょうぼうだん
1 消防署と消防団
- しょうぼうしょ いちにち
2 消防署の一日
- しゅつどう しゅく れんらく しゅく
3 出動の仕組みと連絡の仕組み
- しょうぼう くるま
4 消防の車
- かじ まち
5 火事のない町づくり
- しょうか きゅうじょ きゅうきゅう しごと
6 消火・救助・救急の仕事

さくせい ちょうしょうぼうほんぶ
作成: さつま町消防本部

ぼうかとかほん
防火読本

1 消防署と消防団

さつま町には1つの消防署があり、ここから町内のすべての火事や救急などに出動します。

また、いつどこで災害が起きても、すぐ出動し活動できるように、消防署の他に地域ごとに消防団があり、出動の範囲が決められています。



2 消防署の一日

じむ 事務 10:00

しゅつどうほうこくしょ 出動報告書やたちりけんさ 立入検査などのしるい 書類を作ります。

きゅうきゅうこうしゅうかい 救急講習会 11:00

エイテー と あつか AEDの取り扱いなど、おうちゅうてあて 応急手当を指導します。

さんむこうたい 勤務交替 08:30

せんじつ 前日の職員から引き継ぎを受け、しゅつどう 出動の準備をします。

消防署員の仕事時間は、8時30分から次の日の朝の8時30分までの24時間です。いろいろな仕事をしながら、いつでも災害に出動できるように準備をしています。

べんきょうかい 勉強会 13:00

しょうか 消火やきゅうきゅうかつどう 救急活動がすばやくできるよう、みんなてんご 共同研究します。

やかんさんむ 夜間勤務 03:00

よなか 夜中も交代でばんつうほう 119番通報に備えています。

くんれん 訓練 15:00

げんば 現場にたいおう 対応できるように、くんれん 訓練を重ねます。

かみん 仮眠 01:00

しゅつどう 出動に備え活動服のまま、でたい 体を休めます。

トレーニング 18:00

たいりよくつと 体力作りのために、トレーニングは欠かせません。

さいがいしゅつどう 災害出動 優先



いつ何をしても災害があれば出動します。そのための整理整頓は消防士にとってとても大切です。1秒でも早く出動できるように、装備の置き方を工夫したり繰り返し訓練を行ったりします。

3 出動の仕組みと連絡の仕組み

消防車や救急車がどのような仕組みで出動するのか見てみよう。



火災現場



救急現場



救助現場



自然災害

ドクターヘリ・ドクターカーとの連携



ドクターヘリ

ドクターカー

ドクターヘリ、ドクターカーといっしょに、災害現場で活動することもあります。



大切な命をつなぐためには
たとえ1秒であってもムダにできません。
少しでも早く現場にかけつけるために
たくさんの訓練や勉強をします。

119番通報

—火事ですか？救急ですか？
〇〇です。
—場所はどこですか？
消防車（救急車）が向かう
場所を教えてください。
さつま町〇〇△△番地です。
—どうされましたか？
〇〇〇〇です。



さつま町消防本部
通信指令室

出動指令

電話連絡

役場・警察署・ガス会社・電力会社・電話会社などに災害が発生したことを知らせます。

無線連絡

119番通報の内容を出動している隊員に知らせたり、現場の様子を消防本部に報告したりします。

防災行政無線・安全安心メール

防災行政無線を使って、サイレンを鳴らして火災を知らせたり、携帯電話などに災害の発生を知らせるメールを送ったりして消防団を出動させます。

火災
救助
救急

通信指令室は、出動する場所を調べ、災害によって出動する車を決めて出動指令を出します。

出動



4 消防の車

消防署にはどんな種類の車があるのか見てみよう。



水槽付ポンプ車

車に水を2,000L積んでいて、すぐに消火作業ができます。



ポンプ車

消火栓や川などから、水を吸い上げて消火します。水を800L積んでいます。



救急車

火事や交通事故などでけがをした人や、病気の人に手当をしながら病院へ運びます。



救助工作車

交通事故などで救助をするときに使う車で、人を助け出す道具を積んでいます。



指揮車

火事をすばやく消せるよう指示を出したり、火事の様子を消防本部に無線で知らせたりします。



資機材搬送車

いろんな道具を現場へ運ぶ車で、クレーンで重い物を車に積んだり、移動させたりします。

5 火事のない町づくり

(1) 私達の住む町から火事をなくすために町から火事をなくすために、災害出動以外にも消防署ではいろんな仕事をしています。

●火災予防

火事を起こさないために、建物をつくる前には、図面を確認して消防設備が決められた場所に取り付けられているか確認します。また、立入検査で火事の危険がないか、きちんと管理されているかを確認します。



●火災調査

火事で燃えてしまったものの中から、火事の原因や被害の様子などを調べます。調べた結果を火災予防に役立てるために、町民のみなさんに伝え、同じような火事が起きないようにします。



●広報

火事が起こらないように、防火を呼びかけます。そのほかにも、町の人に火事について知ってもらうために広報紙や動画などを作って、火災予防について呼びかけています。



(2) 消防の設備

建物や町の中にある、消防の設備には何があるのか見てみよう。

— 建物の中にある設備 —

● 火を消す設備



しょうかき
消火器

しょうかざい だ しょうか
消火剤を出して消火します。



おくないしょうかせん
屋内消火栓

はこ なか はい
箱の中に入っているホース
をのばして消火します。



スプリンクラー

ねつ はんのう じどうてき みず
熱に反応して自動的に水が
で しょうか
出て消火します。

● 火事を知らせる設備



ねつかんちき
熱感知器

かさいほうちき
火災報知器
ねつ けむり はんのう
熱や煙に反応してベルや
おんせい かじし
音声で火事を知らせます。



じゆしんき
受信機



かさいつうほうそうち
火災通報装置

ボタンを押すだけで、消防
署に火事を知らせます。



ひじょう
非常ベル

かじ き ひと な
火事に気づいた人が、ベルを鳴
らしてみんなに知らせます。

● にげるときに必要な設備



ゆうどうとう
誘導灯

でくち わ
出口が分かるようにいつも点け
ています。停電のときでも消え
ません。



ひなん
避難はしご

はしごを外に降ろして
ひなん
避難します。



ぼうかど
防火戸

けむり ほのお ひろ ふせ
煙や炎が広がるのを防
ぎます。

— 町の中にある消火に必要な設備 —

プール



かわ
川



ちじょうしきしょうかせん
地上式消火栓



ドローン



さいがいげんば
ドローンも災害現場で
かつやく
活躍します。



すいろ
水路



ぼうかすいそう
防火水槽



ちかきしょうかせん
地下式消火栓

6 しょうか きゅうじょ きゅうきゅう しごと 消火・救助・救急の仕事

しょうか 消火

(1) あんぜん ひ け とうぐ み
(1) 安全に火を消すための道具を見てみよう。



ぼうかい 防火衣

ねつ つよ そざい
熱に強い素材でできています。ヘルメットや長靴とあわせると重さは約10kgあります。



ノズル

ホースの先に取り付けて水を噴出します。スプレー状など水の出し方を変えることができます。



きゅうかん 吸管

かわ ぼうかすいそう みず す
川や防火水槽から水を吸い上げる強いホースです。長さは10mあります。



ホース

なが
長さは20mあります。ホースを何本もつなぐことで、遠い場所へも放水できます。



くうき きゅうき 空気呼吸器

くうき けむり なか かつどう
ポンペの空気中で煙の中でも活動できます。使用時間は約15分、重さ約10kgあります。

きゅうじょ 救助

(2) きゅうじょこうさくしゃ しゅく きゅうじょ きぐ とくちょう
(2) 救助工作車の仕組みや、救助器具の特長について見てみよう。



ウインチ

さいだい やく 5 トン
最大で約5トンのものを引っ張ることができます。



エンジンカッター

きんぞく
金属のドアやコンクリートなどを切る道具です。カギのかかったドアやシャッターも切ることができます。



ゆあつきゅうじょ きぐ 油圧救助器具

こうつうじふ ととき くるま
交通事故の時などに車のドアなどを広げたり、切ったりすることができます。



しょうめいそうち 照明装置



くら ぼしよ あか
暗い場所を明るく照らすことができます。



クレーン



さいだい やく 3 トン
最大で約3トンの重いものを吊り上げることができます。

きゅうきゅう 救急

(3) きゅうきゅうしゃ なか きゅうきゅうしきざい とくちょう
(3) 救急車の中や、救急資機材の特長について見てみよう。



ストレッチャーと 防振ベッド

ストレッチャーは、けがや病気で歩かことができない人を乗せて運びます。防振ベッドは、中に磁石や空気が入っていて、揺れを少なくしています。

えーいーでー AED モニター



けつあつ しんでんす けつえきちゆう きんそ りょう
血圧や心電図、血液中の酸素の量など患者の状態を測ることができます。AEDもついていて、きれいな心臓に電気ショックをして、正しい心臓の動きに戻すことができます。



きゅういんき 吸引器

のどにつまった食べ物や吐いた物を吸い出して、息がしやすいようにします。

じどうしんぱい 自動心肺 蘇生器



しんぞう こきゅう と ひと きょうこつ
心臓と呼吸が止まった人に胸骨
あつぱく じんこうこきゅう いき ひと
圧迫と人工呼吸(息をしていない人へ酸素を送る)を、自動的に行う機械です。救急隊が到着してから、病院に着くまで、連続して行うことができます。